

ひろば

Vol.139

HIROBA

発行日：2019.12.1 発行人：田沼 武能

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732 (事務局)
<http://www.kougei-dousokai.jp> dousokai@kougei-dousokai.jp (受信専用)



「2019年度中野祭実行委員のみなさん」

理事・評議員会
同窓会会長賞・奨学金授与式
中野祭
ひろばのページ

フォックス・タルボット賞40周年
卒業制作展<予告>
卒展×同窓のつどい<予告>
田沼武能会長文化勲章受章



会則改定を審議「理事・評議員会」開催

令和元年度理事・評議員会が6月17日(月)に開催されました。会の冒頭、田沼会長は「私は24期の卒業生ですが、まだ元気で仕事をしていますし、この会の会長も元気で務めさせていただいています。さて、この理事評議員会というのは最高の議決機関ですので、皆さん、慎重審議のほどよろしくお願い致します」と挨拶しました。

続いて議長に大澤副会長を推して議事に入り、まず立川専務理事から構成員について「6月10日現在で理事・評議員は115名、本日出席が36名、委任状



田沼会長

が41名で、半数以上の出席により会は成立します」との報告がなされました。

議事はまず始めに事業、総務、広報、名簿委員会、会計報告のあと、令和元年各委員会事業計画、予算案が審議され、全て原案通り承認可決されました。



川名理事長

今回の理事・評議員会では「同窓会会則の見直し」について審議がなされ、まず川名理事長から「昨年の理事・評議員会において新しく役員が改選されましたが、その大きなテーマとして2つの項目がありました。1つ目が会員の管理システムの見直しであり、事務局の事務局による事務局のための管理システムを構築していこうとなりました。昨年、情報が外部に漏れないかという質問を受け



大澤副会長



ましたが、これはインターネットを介しておりませんので、その心配はありません。このシステムによって、これまで外部に委託していたものを、私共事務局で会員の情報管理をしていくことになりました。また、もう一つ、会則の変更については、会員の構成が変わってきているなかで、昭和55年にスタートした会則が現状に即しているのかが問題になりました。そこで会則の改定について提案したものです」と経緯を説明しました。

具体的には、内藤副会長から「この1年間、運営会議を開いて、私を中心にして会則について議論してきましたが、その結果をお持ちしました」と前置きし、最高意志決定機関が評議員会であったものを総会にしていくことが報告されました。その定足数については現在、評議員会は半数以上になっているのを、新しい案としては会員が2万人以上もいることもあり、定足数を設けず、積極的に総会に出た方の総意で決議していくことを提案。

また、評議員会については事実上廃止し、新しい役員として代表委員を設置、理事会で意見を述べるなど、チェック機能を強化していくことなどが提案されたほか、会費徴収、役員の定年・任期など、現状に即した会則に変更することが報告されました。これらの変更案を来年6月の理事・評議員会で提示し、そこで決定、令和3年の5月1日から新しい会則で運営していくというスケジュールであることが示されました。



同窓会会長賞・奨学金授与式

令和元年6月17日(月)、令和元年度理事・評議員会が開催されましたが、会議終了後、同窓会会長賞・奨学金授与式が盛大に行われました。

冒頭、田沼会長は「皆さん、受賞おめでとうございます。今回の賞は未来を嘱望されている皆さんに授与するものです。この受賞を糧に今後も大いに勉強し、そして活躍してほしいと思います」とエールを送りました。

続いて、今後の飛躍が期待される学生1人ひとりに田沼会長から賞が授与され、その後、お祝いムードが高まるなか、懇親パーティーへと移りました。

令和元年度東京工芸大学同窓会会長賞

学科	学年	氏名
写真学科	4年	萩原 諒子
映像学科	4年	田村 悠
デザイン学科		該当者なし
インタラクティブメディア学科	4年	インタラクティブアート研究室代表者：大久保 好晃
アニメーション学科	4年	「こどもの詩プロジェクト」代表者：藤井 みなみ
マンガ学科	4年	上田 浩平
ゲーム学科	4年	遠藤 広樹

令和元年度東京工芸大学同窓会芸術学研究科奨学金

専攻	学年	氏名
メディアアート専攻博士前期課程	1年	LI TIANYING (レイ テンエイ)
メディアアート専攻博士前期課程	2年	富澤 詠里加

令和元年度東京工芸大学同窓会芸術学部奨学金

学科	学年	氏名
写真学科	3年	横井 良直
映像学科	3年	印南 綾乃
デザイン学科	3年	鈴木 萌日
	4年	本間 侑海
インタラクティブメディア学科	4年	丹治 弘夏
アニメーション学科	3年	CHOI LEEHWA (チェ イファ)
マンガ学科	3年	伊藤 優菜
ゲーム学科	4年	村上 裕一



義江学長





同窓会会長賞「受賞のことば」

萩原 諒子(写真学科4年)

本作品を制作していく中で、私はとても多くの学びと成長を自分自身に感じました。自分の作品にいつも全力で向き合い、アドバイスをくださった写真学科の先生方や夜遅くまで大学の施設で一緒に励んだ仲間との時間から、他のメディアにはない写真が持つ表現の可能性や写真で作品を作ることを深く考えることができました。『矛盾と踏査』は、本学で自分が学び続けてきたからこそ、制作することができた作品だと思っています。自分にとても大きな影響を与えてくれた本作品で同窓会会長賞を頂けたことが、何より嬉しいです。より一層の成長を目指して、これからも写真を撮り続けていきます。



田村 悠(映像学科4年)

今年度の同窓会会長賞をいただき、誠にうれしく感じております。受賞のきっかけとなったAC広告学生賞提出作品「ウミガメ家の食卓」は、私のわがままに付き合い、作品のクオリティ向上のために協力してくれた仲間のおかげで完成した作品です。自分のイメージをもとに作業が行われて作品が完成に向かっていく様を見て、改めて映像制作はチームプレーであることを実感しました。この受賞の喜びをみんなで分かち合い、卒業制作のモチベーション向上へとつなげたいと思います。ありがとうございました。



大久保 好晃(インタラクティブメディア学科4年・インタラクティブアート研究室代表)

この度は同窓会会長賞に選んで頂きありがとうございます。ゼミでのグループ制作を評価して頂き私たちの自信に繋がります。今回の作品は、前年度の先輩から引き継いだ部分や雪の壁面、かまくらを使っの作品などゼミ生10人が力を合わせて制作しました。展示をするきっかけを与えてくれた先生やゼミ内の仲間たちが居てくれたおかげで最後まで制作することができたと思います。今回の評価を自信に繋げて次の制作や卒業制作に繋げていけるようにしていきたいと考えています。





藤井 みなみ(アニメーション学科4年・「こどもの詩プロジェクト」代表)

2019年春、「読売新聞 こどもの詩」から『けっこんしき』『ぼくのこと』『夜』が橋本研究室の学生5名によりアニメーションとなりました。「こどもの詩」は、こどもたちのオリジナルの詩を掲載する同名新聞社の人気コーナーであり、音楽が付けられた詩に私たちがアニメーションを付けました。このコラボレーションによる私たちの作品が多くの方から評価を受けましたことを大変嬉しく思うと同時に、これからも創作活動に精進して参ります。

窓会奨学金授与式



上田 浩平(マンガ学科4年)

漫画を学ぶため東京工芸大学に入って約4年、私が日々制作してきた事がこの度の賞として評価していただけたこと、とても嬉しく思います。この4年でありがたいことに自分の作品を他の方に評価していただく機会も増えました。入学した頃では想像できなかったことです。「成長」をくれた皆々様に深く感謝いたします。そして生涯「成長」していけるよう、これからも漫画制作に精進していきたいと思ひます。



遠藤 広樹(ゲーム学科4年)

このたびは素晴らしい賞を受賞させて頂き、誠にありがとうございました。指導して下さった先生、デモ展示を手伝ってくれた馬場脩矢くんによりお礼を申し上げます。研究というものは、誰かが積んだ山の上に、ほんの小さな石を積みに行くような、非常に地味で目立たないものです。そんな研究が、このたびの同窓会会長賞受賞という形で日の目を浴びたことで、今まで自分がやってきたことが認められた気分とても嬉しく思います。これからも精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。





同窓会会長賞・奨学金授与式 懇親会



平成30年度(2018年) 東京工芸大学同窓会決算書

＜自：平成30年5月1日～至：平成31年4月30日＞

【一般会計】

Table showing income and expense breakdown for the general account of the alumni association in Heisei 30. It includes categories like 'Income' (1. Fees, 2. Receipts, 3. Forwarding) and 'Expenses' (1. Activity fees, 2. Meeting fees, 3. Management fees, 4. Special account).

【特別会計・総務委員会会計】

Income and expense summary for the Special Account - General Affairs Committee.

Income and expense summary for the Special Account - Nominee Committee.

Summary for the General Affairs Committee account in Heisei 31.

【残高証明書発行手数料口座】

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account.

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (continued).

Summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account in Heisei 31.

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (continued).

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (continued).

Summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account in Heisei 31 (continued).

令和元年度(2019年) 東京工芸大学同窓会予算書

＜自：令和元年5月1日～至：令和2年4月30日＞

【一般会計】

Table showing income and expense breakdown for the general account of the alumni association in Reiwa 1. It includes categories like 'Income' (1. Fees, 2. Receipts, 3. Forwarding) and 'Expenses' (1. Activity fees, 2. Meeting fees, 3. Management fees, 4. Special account).

【特別会計・総務委員会会計】

Income and expense summary for the Special Account - General Affairs Committee (Reiwa 1).

Income and expense summary for the Special Account - Nominee Committee (Reiwa 1).

Summary for the General Affairs Committee account in Reiwa 2.

【残高証明書発行手数料口座】

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (Reiwa 1).

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (Reiwa 1 continued).

Summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account in Reiwa 2.

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (Reiwa 1 continued).

Income and expense summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account (Reiwa 1 continued).

Summary for the Statement of Balance Issuance Fee Account in Reiwa 2 (continued).

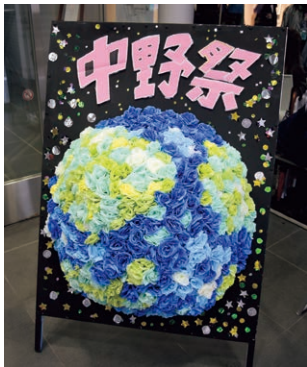


中野祭2019開催

今年の中野祭は、台風の影響で当初の2日間の予定から、10月14日(月・祝)のみの開催と変更になりました。その為、お笑い芸人ライブの中止など残念なこともありましたが、「birth」をテーマに掲げ、1日開催にも拘わらず昨年度とほぼ変わらない来場者数となり、大変盛況でした。

今回のテーマは、芸術学部の中野キャンパス一

元化により新しく生まれ変わった中野キャンパスの誕生を評しており、新たな伝統を盛り上げていこうという思いが込められていました。中野祭実行委員会も、今年は新入生を加え総勢116名の大組織となり、イベント内容・学内装飾の拡充が見られ、賑やかで華やかな学園祭になりました。



47期1年B組クラス会

平成30年6月9日、上野東天紅にて開催しました。井堀先生、田村先生、池田先生、上條先生と、学友(亡き得本君)のお嬢さんの参加にて、ありし日の父を思いとの話して参加して下さいました。また令和元年6月1日は、井堀先生、池田先生と14名で、上野イタリアトラットリアにて、平成30年に亡くなった金子俊夫君をしのんでの会となりました。いつまでも元気でいたいとの思いで、来年の会を楽しみにしてわかれしました。



平成30年6月9日



令和元年6月1日

渡辺明美(47期)

34期製版科クラス会

令和元年5月28日の午後、都内の飯田橋駅近くで開催した。その第一部として2時より都立小石川後楽園(江戸時代水戸藩主2代の徳川光圀の代に完成した、池を中心とした回遊式築山泉水の庭園)に集合して、新緑で美しい園内を散策した。そして第二部はその近くの日中友好会館にて、3時より13名で懇親会を行った。初めに小生より本年4月より芸術学部が中野キャンパスにて一元化して、1年生から4年生までの学生計2800名程が集合して学んでいる事の近況を報告した。その後は中華料理と飲み物を頂きながら懇談して旧交を温め5時過ぎに閉会となった。



八方一治
(34期)

韓国支部総会・仁川写真展

2019年6月1(土)~9(日)仁川ベタリギャラリーチャイナタウンにて、韓国支部主催の写真展が開催されました。オープニングに合わせて支部報告、写真展の経過報告があり、韓支部長の司会でオープニングセレモニーが行われました。伊孝順実行委員長の開催宣言からはじまり、同窓会本部からはお祝い等お渡ししました。



写真展会場は三國志壁画通りの中程にあるお洒落なギャラリーで東京の原宿に良く似た雰囲気、若者の通りが多い場所でした。仁川は日本の建物が多く残り横浜の赤レンガ通りを拡大した様な雰囲気の街なみで坂の多い街です。

田村 寛(42期)



同門展

90年前、それから9番目の同門展。1927年、日本の東京写真専門学校を卒業した申樂均(シン ラクキュウ)先輩は韓国最初の写真専門書<写真学講義>を出版し、写真教育の基礎と学問的体系を成立しました。また写真ジャーナリズム分野を開拓し、写真芸術の発展と定着に寄与しました。

90年が過ぎた今、100名を超える卒業生が様々な分野で活発に活動しています。2011年先輩と後輩の交流をために始めた展示が9回目になりました。毎年続ける事の難しさの中、韓国支部への関心と支援に感謝しています。10回目を迎える来年には日本から多くの参加を期待しながら、より盛大な同門展になるように頑張ります。

1991年卒業生 イ ビョンヨン

関西支部総会開催 新支部長に54期・金居光由氏

令和元年6月22日(土)、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し、近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学名誉教授、東京工芸大学同窓会専務理事 池田陽子先生(39期)にご出席を頂きました。



金居 光由氏



滝口雅之氏(38期)の司会進行で、まず亡くなられました仁科義男氏(27期)、齊藤俊夫氏(34期)、野志敏郎氏(工-3期)に黙祷を捧げ、鷲田支部長より支部長交代のあいさつがあり金居新支部長に引き継がれました。

また、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

懇親会では、滝口雅之氏(38期)の司会、貝塚 裕氏(30期)の乾杯に始まり、各自の近況、抱負などを話し大変盛り上がりました。

金居光由氏(54期)の中締めで来年の再会を約して散会となりました。

関西支部のホームページ <http://www.t-kougei-kansai.jp/>

新潟県支部第50回総会

今年で新潟県支部は50回目の総会を迎えました。これも偏に先輩諸氏のご尽力によるもので、感謝いたします。以前は総会に出席する人数も多く、活動も活発に行われていました。平成元年9月に新潟県支部主催・写真誕生150周年記念「写大ギャラリーコレクションオリジナルプリント展」を新潟伊勢丹で開催し、平成12年9月にも新潟県支部創立30周年記念で「写大ギャラリーコレクション20世紀の写真・オリジナルプリント展」を新潟伊勢丹で開催しました。平成27年10月には東京工芸大学写大ギャラリー開設40周年記念で「土門拳写真展」ー古寺巡礼ーを特別協力と云うかたちで新潟市新津美術館で開催されました。平成24年9月には第3回全国支部長新潟大会が新潟市で開催され新潟県の会員がそのお手伝いをしました。



ここ数年間は支部総会の出欠の返事に「体の具体が悪い、体調が優れない、主人は亡くなりました」など新潟県支部も高齢化が進み、また新しく参加してくれる会員もほとんど無い状況です。

令和元年8月31日開催の第50回記念支部総会には副会長の澤さん、専務理事の池田さんにご出席を賜り、お忙しいところありがとうございました。当日は豪農の館・長谷川邸、宝徳稲荷大社、朝日酒造を見学後長岡駅近くに移動し総会を小林康生副支部長の司会、進行で開催しました。その席上で全支部長の堀江さんに感謝状を贈呈しました。感謝状には田沼会長より自筆署名をして頂きました。

昔の事や写真展の思い出話が出て、和気あいあいの楽しい懇親会を過ごす事が出来ました。

末筆になりますが、前支部長の堀江さんより、新潟県支部へ過分なご寄付がありました。会の活動の為有効に使わせて頂きます。ありがとうございました。

支部長 小林俊郎(44期)

展示会・出版の記録

展：展示会名 作：作者 所：場所 期：会期



展： 写大ギャラリー・コレクション「うつくしきゼラチン・シルバー・プリントの世界」
作：
所： 東京工芸大学 写大ギャラリー
期： 2019.5.13-6.30



展： 山下晃伸写真展「夜光性静物観察記」～東京都足立区にある公園遊具達～
作： 山下晃伸(写真学科82期)
所： 画廊 一庵庵
期： 2019.6.17-6.23



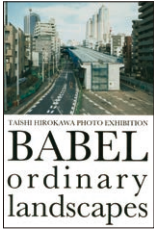
展： 写大ギャラリー・コレクション展「フォックス・タルボット賞40周年記念展」～281/意欲とイメージの軌跡
作：
所： 東京工芸大学 写大ギャラリー
期： 2019.7.8-8.11



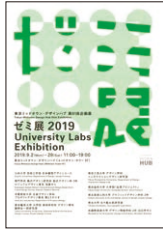
展： 東京工芸大学 圓井研究室 作品展 雰囲気的美学
作： 圓井義典(写真学科准教授)、大阪紗代、笹川遥平、白鳥友紀子(写真学科4年生)
所： ギャラリー-KINGYO
期： 2019.8.6-8.11



展： 東京工芸大学 写真部 夏展
作： 東京工芸大学 写真部
所： ギャラリールデオ
期： 2019.8.27-9.1



展： BABEL ordinary Landscapes
作： 広川泰士(大学院非常勤講師)
所： 新宿パークタワー1F ギャラリー1 tokyo arts gallery
期： 2019.8.29-9.4



展： ゼミ展 2019 University Labs Exhibition
作： インタラクションデザイン研究室
所： 東京ミッドタウン・デザインハブ(ミッドタウン・タワー5F)
期： 2019.9.2-9.28



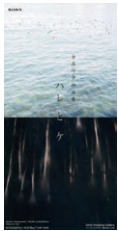
展： 子どもと地蔵さま
作： 田沼武能(写真技術科24期)
所： オリンパスギャラリー東京
期： 2019.9.6-9.11



展： T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 首都圏の美大・専門学校で写真を学ぶ学生たちの写真展 PHOTO SCHOOL NOW!
作： 中崎大河(写真学科4年生)
所： JR上野駅正面玄関口「ガレリア」2F Breakステーションギャラリー
期： 2019.9.14-10.24



展： 上田風子 個展 うたかた
作： 上田風子(デザイン学科 助教)
所： Gallery MUMON
期： 2019.9.14-10.5



展： ハレとケ
作： 金森玲奈(写真学科79期)
所： ソニーイメージングギャラリー銀座
期： 2019.9.20-10.3



展： 東京工芸大学 芸術学部 写真学科 パライタファインプリントゼミ展
作： 田中仁(写真学科教授)泉谷拓海、植木淳平、大多和春樹、北田修也、桑原匠、辻本紘太、中村玲奈、野村航志、蓮見航平、原田凌佑、YANG NING、中村文音、登尾太郎(写真学科3年生)
所： Alt_medium
期： 2019.9.26-10.1



展： Hello, Goodbye BOEING747
作： 青木 勝(写真技術科41期)
所： オリンパスギャラリー東京/オリンパスギャラリー大阪
期： 2019.10.4-10.9(東京)/2019.11.1-11.14(大阪)



展： 芸術学部フェスタ2019 結ぶアート 築くアート
作： (デザイン学科)福島 治、糸藤隆弘、谷口広樹、高城光、永井孝也、高梨 令 (映像学科)李 容旭、(ゲーム学科)原 寛徳、室橋直人、遠藤雅伸、今給黎 隆 (アニメーション学科)木船園子、山中華生 (インタラクティブメディア学科)浅野耕平、久原泰雄 (基礎教育)相澤久徳、牟田 淳(写真学科)吉野弘章、田中 仁、小林紀晴、酒井孝彦、(マンガ学科)チョン・インクン、よしまさこ
所： 中野キャンパス
期： 2019.10.13-10.30



展： 田沼武能と7人の仲間による「それぞれの武蔵野」V写真展
作： 田沼武能(写真技術科24期)、並木松太郎、宮崎 延、東松友一、今泉信孝、松本渡、橋本英男、矢野靖博
所： アイテムフォトギャラリー 「シリウス」
期： 2019.10.24-10.30



展： 遠い光-Lost Asia-
作： 小林紀晴(写真技術科63期)
所： Kiyoyuki Kuwabara AG
期： 2019.11.6-11.23



展： 夜光性静物観察記
作： 山下晃伸(写真学科82期)
所： 富士フォトギャラリー銀座
期： 2019.11.8-11.14



展： there
作： 内藤 明(写真技術科47期)
所： ギャラリーイーエム西麻布
期： 2019.11.19-12.7



展： Club 銀燕チャリティ鉄道写真展
作： 荒川好夫(写真工業科42期)、小林大樹(写真学科88期)、武 俊典(写真技術科60期)、米屋こうじ(写真技術科64期)
所： セシオン杉並(展示室)
期： 2019.11.20-11.26



展： 「時々刻々」
作： 小島三幸(写真学科78期)
所： RED Photo Gallery
期： 2019.12.2-12.15



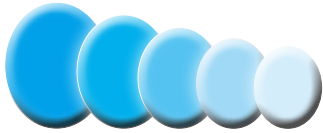
展： 高 正男 写真集
HAIKU INCHEON CIDER CHIBA
作： 高 正男(大学院79期)
所： 韓国出版社より発刊
期： 2019.6.7



展： 女装コスプレヤーと弟(3)
作： 齋川なな(マンガ学科8期生)
所： スクウェア・エニックス
期： 2019.8.9



展： 月刊たくさんのふしぎ「地蔵さまと私」
作： 田沼武能(写真技術科24期)
所： 発行：株式会社福音館書店
期： 2018.1.1



フォックス・タルボット賞40周年記念展開催

“フォックス・タルボット賞” 同窓生の皆様ならば、この名前をご存知だと思います。「応募した」「受賞した」「作品を見た」という方も多いかと思えます。このフォックス・タルボット賞が昨年度40回目を迎えました。これを記念して「フォックス・タルボット賞40周年記念展」～281/意欲とイメージの軌跡～(2019年7月8日(月)～8月11日(日)：写大ギャラリー)が開催されました。これは賞がスタートした、1979年から2019年までのフォックス・タルボット賞をふり返り、収蔵作品から構成展示したものです。

本賞は写真表現に情熱を傾ける若い人々の奨励と新しい写真家への登竜門としての機能を果たすことを目的として、東京工芸大学(当時・東京工芸大学短期大学部)が開設した学内公募賞です。

日本において写真がアートとしての認識が高まり、写真の美術館収蔵や写真専門ギャラリーが誕生し始める頃にフォックス・タルボット賞が始まり、40年の間に281名の受賞者を輩出してきました。

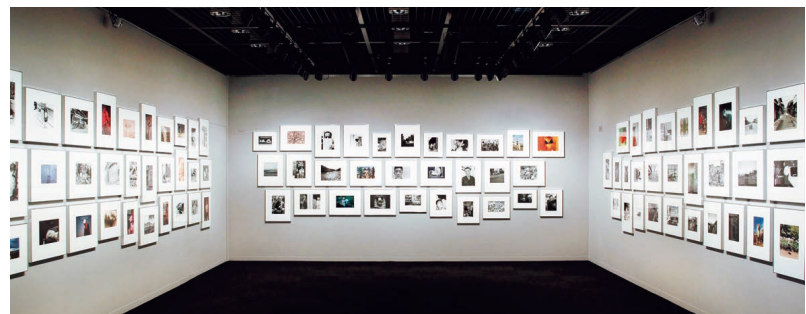
日本はもちろんのこと世界が大きく変動し続けたこの40年に寄り添うように、写真表現も変動を繰り返してきました。写真のテクノロジーも20世

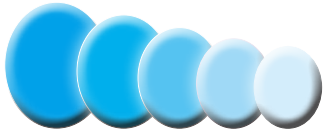
紀末、完熟の域に達した銀塩から2000年以降のデジタル化に移行して写真の

思考すら変えてきたのがこの40年です。その時代ごとに本学の学生/若い写真家たちが何を見て、どのような意識のもとに写真表現を試みてきたかを体感できるものでした。作品群からは時代と共に変遷していくムーブメントと「変わることのない写真へのプリミティブな意欲が伝わってくる。」と好評を得て、多くの来場者を集めました。同時に会場の全作品からは本学写真教育の不断の軌跡が壮観できる展覧会でもありました。間もなく第41回フォックス・タルボット賞の公募が始まります。応募資格のある同窓生の方はぜひ、応募してください。なお受賞作品展は2020年2月1日～2月15日(写大ギャラリー)を予定しています。

フォックス・タルボット賞委員会委員長

教授 田中 仁





第41回 2020フォックス・タルボット賞 募集案内

- | | | | |
|------|------------------|------|------|
| 1. 賞 | 第一席 賞状・楯並びに奨励金 | 30万円 | 1名 |
| | 第二席 賞状・楯並びに奨励金 | 10万円 | 1名 |
| | 第三席 賞状・楯並びに奨励金 | 5万円 | 1名 |
| | 佳作 賞状・楯並びに奨励金 | 3万円 | 5名以内 |
| | モノクロ賞 賞状・楯並びに奨励金 | 2万円 | 1名 |
-
2. 審査委員 田沼武能／細江英公／中谷吉隆／立木義浩／小林紀晴
-
3. 入賞発表 2020年1月末、本学中野キャンパス・厚木キャンパスの掲示板に発表します。尚、入賞者には直接通知します。
-
4. 表彰 表彰式は2020年2月15日(土)に本学「写大ギャラリー」で行ないます。
-
5. 写真展 2020フォックス・タルボット賞写真展は2020年2月1日(土)より2月15日(土)まで本学「写大ギャラリー」で開催します。
-
6. コレクション 入賞作品は「写大ギャラリー・コレクション」としてパーマネントコレクションの対象とします。尚、写真展及びパーマネントコレクションの作品については、再プリントを要請する場合がありますので予めご了承願います。
-
7. 作品の使用権 著作権は作者に帰属しますが、入賞作品の優先使用権は本学が保有します。

● 応募資格

- ①東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)に在籍する学生及び研究生
- ②東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)、東京工芸大学芸術別科を2009年3月以降に卒業又は修了した学生及び研究生

● 応募期日

2020年1月6日(月)～1月14日(火)

● 応募作品

写真作品で未発表のものに限ります。

● テーマ

自由

● 作品形式

単写真、組写真あるいは複数枚による作品。ただし、1作品につき30枚以内とします。尚、作品応募数に制限はありません。

● 作品サイズ

カラー、モノクローム共にプリントサイズ8×10インチ～11×14インチ(大四切)もしくはA4～A3サイズ(A3ノビは不可)を使用したプリントで応募して下さい。

● 応募方法

- ①1作品が複数枚で作品に順序が必要な場合は、写真表面にキズのつかない方法で、裏面に番号を記して下さい。
- ②所定の「応募票」「作品票」に必要事項を記入して下さい。
- ③写真サイズに見合う適当な封筒に1作品単位で写真を入れ、応募票と作品票を同封して下さい。尚、作品を複数応募する人は応募票を作品〔A〕の封筒に入れて下さい。

● 応募上の注意

- ④作品単位の封筒それぞれに氏名及び作品タイトルを記入して下さい。(在学は学部・学科・学年も記入して下さい)
- ①応募作品は変色・写真の折れ・スポットティング・カッティング等仕上げに充分注意して下さい。(画面外余白を残して下さい)
- ②作品を郵送する場合は、写真が折れないよう厚紙でカバーし、出来るだけ書留で送って下さい。
- ③必ず本人が応募して下さい。代理人による応募は受付できません。
- ④表彰式に出られない場合は受賞対象外になることがあります。

● 応募受付

- ①本人持参 受付時間 10:00～17:00
受付場所 中野キャンパス庶務課
- ②郵送 下記フォックス・タルボット賞委員会へ(応募日切日必着)

● 作品の返却

応募作品は希望により2月上旬以降返却します。在学生の作品は各所属部署を通じて返却します。卒業生には着払い(宅配便)にて返却しますので、返却希望者は応募票の「返却希望」の欄に○印をお願いいたします。

● 問い合わせ先

東京工芸大学芸術学部
フォックス・タルボット賞委員会
〒164-8678東京都中野区本町2-9-5
E-mail:ft@office.t-kougei.ac.jp

※応募票・作品票は大学ホームページよりダウンロードできます。
TOP>大学の活動>お知らせ>第41回2020フォックスタルボット賞募集

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2020に向けて

「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2020」が2020年2月21日(金)から23日(日)まで3日間、中野キャンパスで開催されます。

「芸術学部卒業・大学院修了制作展2020」は大学創立から数えますと97年目になります。芸術学部はご存じの通り2019年4月から中野キャンパスに一元化されました。芸術学部の全ては中野のキャンパスに集結し、学生も既存の3・4年生、大学院生に加えまして1・2年生の元気な姿を校内でお目にする事ができるようになりました。

大学内の施設もさらに整備、拡張され、学生食堂「プレイス」も大きくなり、休み時間には学生で賑わっております。

委員会では「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2020」の展示上映が昨年と同様に円滑に進められるように事務方とも連携を取りながら芸術学部一丸になってしっかりと準備を進めております。

学生の研鑽の集大成である卒業研究は一つ一つが個性豊かで輝いております。写真をはじめ映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガ7つの学科の卒業研究と大

学院芸術学研究科の修了制作研究の成果報告になります。どうぞメディア芸術の研究成果を楽しんでいただきながら母校の日進月歩の様子もご確認していただければと思います。

私は都心の真ん中、中野キャンパスで行われる「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2020」は最

先端のメディア芸術の発信基地であること、そして皆様に於かれましては若い世代の素晴らしい作品に出会えることをお約束いたします。

展示・上映の期間中には社会で活躍されている卒業生をお招きして学生時代のお話を聞く企画もございます。来校していただき、若い現役の学生への励ましの一は学生には嬉しいものでございます。皆様のご来校を心からお待ちしております。東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展委員会委員長 教授 李 容旭



東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2020メインビジュアル「Voyage」藤本 巧(デザイン学科4年)

東京工芸大学同窓会主催「卒展×同窓のつどい」開催のお知らせ

開催概要

- 開催日 2020年(令和2年)2月22日(土)
 - 場 所 東京工芸大学中野キャンパス2号館地下1階「プレイス」(学食)
 - 時 間 16:00~18:30
- ※事前申込不要。入場無料。時間内出入り自由。
- ◇卒業制作展に来場された方はどなたでも入場できます。
- ◇同窓生と恩師、後輩達が集う“おしゃべりの場”としてお気軽にご来場下さい。
- ◇同窓生の方には記念品を差し上げます。

今年度も、卒業制作展の日程に合わせて「卒展×同窓のつどい」を開催します。卒展を見に来たついで

にお気軽にお立ち寄り下さい。このイベントは今回で4回目になりますが、毎年多くの卒業生の方にご参加頂いております。大先輩の方から近年の若い卒業生、卒展を展示している現役の学生さんまで、幅広い世代の皆さんが集まってワイワイガヤガヤと盛り上がっています。昨年度はキャンパスの拡充工事の関係で教室での開催となり、多少窮屈な思いをさせていただきましたが、今年度は再び「プレイス」(学食)での開催となります。学食はリニューアルされ2倍の広さになりました。

当日は多くの皆様にお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

上田 耕一郎(75期)



田沼 武能 会長「文化勲章」受章

11月3日付で、本同窓会会長の写真家・田沼 武能氏(90)(24期)が「文化勲章」を写真家として初めて受章しました。同氏は本学の名誉教授でもあります。

田沼氏は、昭和24年に東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)を卒業し、サン・ニュース・フォトスに入社し、同時に木村伊兵衛の助手となり写真家としての人生をスタートしました。同26年より新潮社『藝術新潮』の嘱託写真家として文化人の肖像写真による連載で注目を集め、同40年にはアメリカのタイム・ライフ社と契約し、フォトジャーナリズムの分野で世界的に活躍しました。また、同59年から黒柳徹子ユニセフ(国連児童基金)親善大使の援助国訪問に全て同行するなど、これまでの取材活動は世界各地120カ国以上に及んでいます。

同氏は90歳を超えた今日までの70年余、常に第一線の写真家として優れた作品を発表し続けながら、平成6年に東京工芸大学芸術学部写真学科教授、同16年に名誉教授となり、長年にわたって写真教育に携わり、多くの後進の育成にも尽力してきました。

このような活動に対して、同2年には紫綬褒章、同14年には勲三等瑞宝章を受章、同15年に文化功労者に顕彰という栄に浴しています。現在も毎年のように写真展を開催するなど、精力的に活動する一



方で、多年にわたり写真界の要職に就き、我が国の写真界の発展、写真文化の向上に力を尽くしてきたことが、今回の栄誉につながりました。

「文化勲章」は、我が国の文化の発達に関して顕著な功績のあった者に対して授与される勲章です。受章者は、文化審議会に置かれる文化功労者選考分科会に属する委員全員の意見を聴いて文部科学大臣から推薦された者について内閣府賞勲局で審査を行い、閣議に諮り、決定されます。受章者は、毎年11月3日の文化の日に、宮中において天皇陛下から親授されます。

掲載記事の募集

「ひろば」に掲載する記事を募集します。

エピソードや同期会・クラス会(規模の大小は問いません)など、楽しい記事をお待ちしております。テキスト原稿・集合写真などを、メールもしくは郵送で同窓会事務局までお送り下さい。紙面編集の都合上、原稿は広報委員会で調整させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。よろしく願い申し上げます。

訃報

衷心よりお悔み申し上げます。

出谷 三治 (21期・選科)	久保 善信 (35期・写真技術科)
黒沢 雍弘 (29期・写真技術科)	根井 伸一 (39期・写真工業科)
藤江 喜康 (30期・写真技術科)	林 正光 (42期・写真技術科)
君塚 邦彦 (34期・写真技術科)	菅原 聖紀 (43期・写真工業科)
伊藤 光雪 (34期・写真工業科)	林 伸一 (53期・写真技術科)

(敬称略) 訃報は御親族の承諾を頂いた方のみ掲載させて頂いております。

奥沢和夫先生、前同窓会会長のご逝去を悼む

本同窓会の前会長、奥沢和夫先生が去る9月17日、ご逝去されました。享年92歳でした。

先生は、東京写真工業専門学校を昭和22年に卒業(22期)され、本同窓会におきましては、平成9年から平成12年まで会長を務められ、本同窓会の発展にご尽力されました。また先生は、昭和22年から昭和47年まで、東京写真工業専門学校、東京

写真短期大学、東京写真大学短期大学部において助手、助教授、教授を務められました。さらに昭和36年に株式会社アロマカラーを設立されるなど、我が国のカラー写真の発展に多大な貢献をされました。

ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

このところ、毎年のように日本のどこかで大きな自然災害が起きているような気がします。今年の台風15号、19号では広範囲に渡り甚大な被害がでました。被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。台風19号は大学行事にも大きく影響し、10月13日に予定されていたホームカミングデーは中止になってしまいました。同窓生の皆さんにお会いできず残念でした。来年2020年はいよいよオリンピックイヤーです。明るい1年になることを願っております。皆様、良いお年をお迎え下さい。

広報委員長 上田 耕一郎(75期)